山行報告書

神戸勤労者山岳会

１．参加者　　井上圭右　井上裕子

２．山域／ルート　　谷川岳

３．交通手段　　バス・ＪＲ

４．行動記録

＜入山日 2014 年 10 月 1 日。　　下山日 2014 年 10 月 4 日＞

第１日　大阪桜橋口 22:00 発高速ﾊﾞｽ→6:30 長岡 7:38JR→8:42 土樽→8:58 水場→9:00 万太郎山分岐→9:08 蓬峠分岐→11:46 矢場ﾉ頭→13:25 茂倉岳避難小屋→13:50 茂倉岳 14:00→14:20 一ﾉ倉岳→15:35 ｵｷﾉ耳→15:50 ﾄﾏﾉ耳→15:55 肩の小屋(泊)

第２日　4:30 起床 5:45 発→6:37 ｵｼﾞｶ沢ﾉ頭→7:10 小障子ﾉ頭→8:35 万太郎山 8:45→11:10 ｴﾋﾞｽ大黒避難小屋 11:25→12:00 仙ﾉ倉山→12:45 平標山→13:15 平標山ﾉ家 13:25→14:13 林道出合 14:23→15:15 元橋 15:51 路線ﾊﾞｽ→越後湯沢の温泉宿泊

第３日　越後湯沢 9:15 発路線ﾊﾞｽ→9:35 矢木沢口 9:45→11:00 栄太郎登り口→11:25 鹿飛橋→11:45 栄太郎登り口→13:00 栄太郎峠→13:40 大峰→14:05 ﾛｰﾌﾟｳｪｲ山頂駅 14:20 ﾛｰﾌﾟｳｪｲ→14:27 山麓駅→越後湯沢の温泉宿泊

第４日　越後湯沢 9:48 発 JR→10:16 土合→ﾏﾁｶﾞ沢・一ﾉ倉沢・幽ﾉ沢散策 往復→13:25 土合 13:50JR→14:20 越後湯沢・温泉 JR→長岡 22:05 発高速ﾊﾞｽ→6:40 大阪桜橋口

５．山行中の問題点・事故に繋がる要因

a)予定のルート・日程で行動出来たか？

予定ルートをはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由

無

b)事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

発生した場合、具体的に記す

無

６．その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

・週間予報では晴だったが、実際には前線の接近による強い横風とガスにより期待していた稜線のパノラマは余り見れなかった。しかし、時々霧が切れて見える景色は雄大で秋らしく色づいて美しかった。

・谷川岳から平標山までは幕営禁止なので肩の小屋泊とした。

・茂倉尾根から山頂までの登りはエアリアマップのコースタイムでは厳しく１時間程度多くの時間を要した。

・仙ﾉ倉山から平標山の道のりは高山植物帯で木道が敷設されて歩きやすかった。

・鹿飛橋からの清津峡は３大渓谷の一端を眺められた。先にも続いているが、道が荒れており、難しそうである。機会があれば核心部を歩きたいと思う。

・土合からマチガ沢・一ﾉ倉沢・幽ﾉ沢への道は、一ﾉ倉沢が間近に見える楽しい散策路だった。

・土樽駅は無人駅で便所は１つしか無く飲み水には適さない。コースをしばらく歩くと水場が有りそこで補給すると良いと思われる。茂倉岳避難小屋の水場は裏手すぐに有るようだ。平標山ﾉ家の外側には豊富な水が出ていたので補給した。

・肩の小屋は管理人が１人で食事から全て行っており、早めの朝食(5:00)にも応じてくれた。

・第２日は越後湯沢駅に夕方着き、駅の案内所で宿泊先を予約できた。

・今年８月末の山行からインナーを薄手のウールにした。保温・吸湿・肌触りが良く、汗による臭いも無く快適だった。

(10.1) 一ノ倉岳付近の稜線

(10.2) 万太郎山への尾根道

(10.3) 鹿飛橋からの清津峡

(10.4) 一ノ倉沢出合